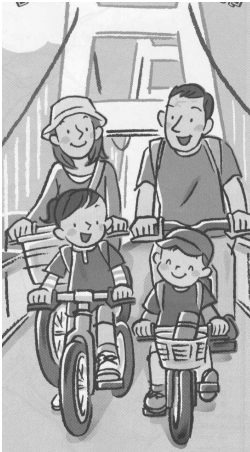




「しまなみ海道」サイクリングの旅
2009・5・23(土)～24(日)



<心身に「障害」をもつ方々へのお誘い>

主催 サイクルボランティア・ジャパン (CVJ)
青い鳥ことばの会

チャレンジしませんか
瀬戸内海横断サイクリングの旅を…


今年「しまなみ海道」は開通10周年記念の年です。
昨年、大好評の「しまなみ海道」イベントを今年も実施し
ます。

「しまなみ海道」(本州～四国間の瀬戸内海80km)を2年間かけての「サイクリング横断記録達成」にぜひトライしてください。

また、昨年参加されてない方は、「しまなみ海道」の絶景をご自身の足で、ぜひ体験していただければと思います。

今年のコースは <愛媛県・今治市→広島県・生口島>です。

☞ 「サイクルボランティア・ジャパン」(CVJ)について

 「サイクリングの楽しみを自ら味わうだけでなく、多くの人たちにその楽し
CVJ ロゴ を伝えたい。また、海外サイクリストとの交流や支援、「障害」をもった 方への
サイクリング普及援助活動、緊急災害時に自転車を活用しての支援活動の実施など自転車
という媒体を通していろいろな社会貢献ができれば」といった趣旨で、昨年5月に結成され
た団体です。(「CVJ」問い合わせ先; 〒105-0004 東京都港区新橋1-15-5 第一コーワビ
ル7階 竹沢荘一 電話 03-3508-8686 Eメール info@cvjapan.org)

☞ 「青い鳥ことばの会」について

大阪と名古屋で「障害」をもった子どもたちに主に言語指導を中心にした「療育教室」を行
っている「会」で、毎年夏に「療育キャンプ」をしたりしてきましたが、今年も「サイクルボラ
ンティア・ジャパン」と協力し、幅広く「障害」をもった方々へ参加を呼びかける主体グルー
プとして、また「障害」をもった方々が普段の生活では味わえないような体験・企画を提供
できるようプランづくりに協力しています。

< 計画の概要 >

日 程 : 2009年5月23日(土)～5月24日(日) <雨天実施>

宿泊場所：「瀬戸内荘」愛媛県今治市吉海町八幡 20 TEL 0897-84-2600

内 容：「しまなみ海道」サイクリング、記念品製作、花火、似顔絵体験、ゲストによるお楽しみ体験、夜いっぱい呑みながらの「参加者交流会」、瀬戸内観光など。

費 用：大人（中学生以上）13000 円、子ども 9000 円（小学生）←（但し、レンタバイクを利用されない方はマイナス 1500 円）幼児 3000 円、
（1泊2食、諸費用を含む）—— 但し、集合地点までの交通費は別 ——
＜参加費の徴収は当日＞

持ち物：着替え、洗面具、タオル、筆記用具、しきもの、車酔い止め薬、帽子、水筒、日焼け止めクリーム、常備薬、サイクリング時リュック・手袋など
また、夜の交流会時の**飲食物の差し入れ**は大歓迎いたします。

その他：①参加申し込み・問い合わせは、大島政広の携帯電話 **(090-6370-6244)**

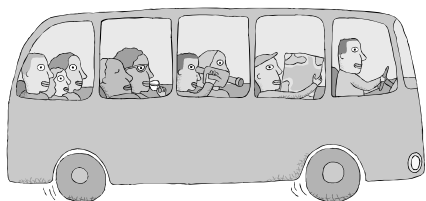
自宅住所；枚方市星丘 2-14-27 (Eメール oshima921@yahoo.co.jp) まで。

②参加申し込み締め切りは、4月23日（木）。バス利用の関係で55名までの参加とさせていただきます。（人数オーバーの場合、抽選。また少数の場合は申し込み期間を延長させていただきます）

③締め切り後のキャンセル料は、大人 2000 円、子ども 1000 円とします。

＜ 具 体 的 な 「 プ ロ グ ラ ム 」 ＞

— 5 月 2 3 日 —



8時20分 京阪枚方市「ラポール」横、関西空港
行きバス停出発

8時50分 阪急茨木市駅前「高槻・茨木支援学校
スクールバス停」出発

☞ この2カ所からバスに乗り、明石大橋（または瀬戸大橋）経由で愛媛県今治市へ移動

します。

☞ バス車中で、参加費徴収を行い、別紙「実施要項」・「部屋割り一覧」などの配布、キャンプの日程説明、参加者自己紹介などを行います。

12時 昼 食 今治市への道中のドライブインで、ボランティアと担当家族ごとで食事（自由食）をとっていただきます。

14時 今 治 市 「 サ ン ラ イ ズ 糸 山 」 到 着 ・ サ イ ク リ ン グ 開 始

☞ レンタバイク・ヘルメットのフィッティング、記念撮影の後、3グループ（自転車2グループと徒歩グループ）に分かれて出発。宿泊する旅館まで約10キロのサイクリング（約40分）です。自転車に乗れない方のためにタンデム（二人乗り）自転



車も用意していますので、ご利用ください。

- 1 自転車Aグループ→来島大橋（料金200円）→大島→旅館（入浴）→バラ公園散策（徒歩またはバイクで）
- 2 自転車Bグループ→来島大橋→大島→バラ公園散策後→旅館で入浴
- 3 徒歩グループ（約6キロ）サンライズ糸山→来島大橋（歩行者は無料）間は徒歩。渡橋後バスで旅館へ。

徒歩グループが旅館に到着後、車イス使用者を除く全員がバスに乗り、近くの「亀老山展望公園」（運がよければ瀬戸大橋が見えます）に行き、瀬戸内の遠望を楽しみます。

（車イス使用者は入浴タイム）

17時 「瀬戸内荘」でのひととき（旅館は、全館貸切になっています）

☞18時まで休憩（部屋割り一覧は当日お渡しします）

徒歩グループやボランティアなど、未入浴の方はこの時間に入浴ください。

☞ 入浴は室内浴場（女性）と別館浴室（男性）の2カ所があります。

☞ 18時過ぎから、旅館自慢の**夕食**。（於）旅館1階大広間

☞ 19時から1階大広間にて「**全体交流会**」

・「**キャンプ参加記念品**」製作（武田伊左男さんの指導で、ボランティアといっしょに記念製作のひとときをお過ごしください）

・「**ちんどん玉すだれ**」井上一哉さん（大阪府・枚方市より来てくださいます）の素敵な妙技をお楽しみください。

・「**ミニ体験発表**」夫婦で10年間タンDEM自転車世界一周をされた宇都宮トモ子さんの話（予定）。

・「**似顔絵コーナー**」→阪神大震災以来約3000枚もの似顔絵をボランティアで描いてこられた武田伊左男さんに描いてもらってください。（行きのバスで抽選し、整理券を発行します）など。

☞ 21時過ぎ、旅館前広場で「**花火大会**」をします。

————— ここまでが子どもたちの一日目のプログラムです —————

☞ 「**参加者交流会**」（1階「大広間」にて）

・「参加者交流会」は、ジュースやお酒・ビールなどを呑みながら、ゲストの方々、ボランティアのみなさんをお迎え、家族の交流や日常のさまざまな思いをゆっくりと歓談したく思います。

前日はゆっくりと休養をとって御参加ください。

（時間無制限・飲み放題!、費用は参加費に含まれています）

・希望者は「カラオケ」設備もあります。

— 5月24日 —

☞ 午前7時「**朝食**」（旅館1階食堂にて）



- ・サイクリングや散策をしますので、たくさん食べてください。

8時 「しまなみ海道」サイクリング（約30km）出発（2つのグループ）

☞ 自転車で走るグループ

この日は、「伯方・大島大橋」→伯方島→「大三島大橋」→大三島→「多々良大橋」→生口島を走ります。（それぞれ50円・50円・100円の通行料金がかかります←各自負担）

- ・自転車旅行は向かい風、雨、登り坂など避けて通れません。出発してすぐ約2キロの登りがありますが、みんなで励まし合って乗り切ってください。
- ・途中、何度か休憩をとりながら（正味2時間余りの走行）、ゴールは生口島瀬戸田町ベル・カントホールです。（レンタバイク返却）

☞ 徒歩グループ 約7キロ（橋を歩いて渡る）

伯方大島大橋（1165m橋の長さ+1377mバス下車・乗車地点から橋への距離）
大三島大橋（328m+195m）、多々良大橋（1480m+2747m）

- ・橋と橋の間は、バスで移動します。

11時 瀬戸田町にて

- ☞ 担当ボランティアと自由**昼食**、近辺の**観光**（耕三寺、平山郁夫美術館など）
バスは耕三寺参道の土産物店「富士」の駐車場にて待機しています。

14時 帰 阪

- ☞ 「しまなみ海道」をそのまま尾道まで進み、土産物店（ドライブイン）に立ち寄り、適宜休憩とりつつ大阪へ戻り、茨木市には18時頃の帰着予定です。
- ☞ 帰りの車中で「反省会」→2日間の感想などを交流させていただきたく思っております。また、お楽しみイベントも準備しています。
- ☞ 帰阪後、茨木市または枚方市にて「**現 地 解 散**」。

<実施にあたってのあれこれ>

- ☞ 遠くから参加される方のため、前日、宿泊を希望される方は、「青い鳥ことばの会」茨木教室（茨木市主原5-33）を開放しますので、食事・タオルケットなど持参でご利用ください。銭湯は近くにあります。
- ☞ サイクリングのボランティアは、世界各国を自転車で旅してきた経験豊富なメンバーが多数サポートして下さいますし、昨年このイベント実績（60名参加→内「障害」を持った方の参加者18名）もありますので、安心してご参加ください。また、「しまなみ海道」走行中は、現地マウンテンバイクサークル「マウンテン・ポテト」の方々もサポートにあたって下さいます。

—— 参加者には、詳しい別途「実施要項」・「参加者名簿」・「関連地図」などをお渡しします。また、プログラムは当日の天候などで一部変更させていただくこともありますので、御了承ください——